

日本食品免疫学会 第19回学術大会(JAFI2023)

「腸内環境を介した食と健康のつながり」

- 大会長: 田中 美順 (森永乳業株式会社)
- 日時: 2023年11月14日(火)～15日(水)
- 場所: タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

11月14日(火)

- 開会挨拶
- ポスターショートプレゼンテーション
- BMFH lecture

「食品に由来する腸内細菌の代謝産物が宿主の健康に及ぼす影響」 栗原 新 (近畿大学)

～昼食／若手研究者情報交換会～

- ポスター討論
- シンポジウム1「腸内環境と免疫システム」

「加齢に伴う免疫グロブリンAを介した宿主と腸内細菌叢の相互作用の破綻」 河本 新平 (大阪大学)

「Paneth細胞・αディフェンシンによる自然免疫機能を介した腸内細菌叢制御」 中村 公則 (北海道大学)

「農学領域における粘膜免疫学研究から見てきた母体の免疫機能のユニーク性」 野地 智法 (東北大学)

「宿主と腸内細菌叢のクロストークを媒介する宿主由来のmicroRNA」 園山 慶 (北海道大学)

- 学会活動 (WG) 報告
- 懇親会

11月15日(水)

- シンポジウム2「脳腸ダイナミクス: 食の健康へのインパクト」

「摂食障害から見た腸内細菌と脳腸関連の役割」 須藤 信行 (九州大学)

「食品成分により誘導されたエクソソームによる腸脳関連活性化」 片倉 喜範 (九州大学)

「脳における免疫応答と腸脳関連」 伊藤 美菜子 (九州大学)

「プロバイオティクスによる精神的フレイル(軽度認知障害)予防について」 浅岡 大介 (順天堂大学)

- 学会賞授賞式・受賞記念講演
～昼食～
- 特別講演

「ラクトフェリンと免疫」 橋本 真一 (和歌山県立医科大学)

- シンポジウム3「腸内細菌の代謝産物と疾患: 食の役割」

「短鎖脂肪酸とアレルギー予防」 西山 千春 (東京理科大学)

「腸内細菌叢を改善し免疫応答を活性化することで大腸炎緩和に働く漢方・大建中湯」 佐藤 尚子 (理化学研究所)

「大腸がんに関連するヒト腸内環境因子の解明」 山田 拓司 (東京工業大学)

「新規脂肪酸受容体GPR164による腸管恒常性維持機構」 池田 貴子 (京都大学)

- 閉会の辞

- 大会参加費はこちらです。
早期登録(10月23日まで)
会員 [一般] 3,000円/[学生] 無料 非会員 [一般] 7,000円/[学生] 1,000円
後期・当日登録(10月24日から会期最終日まで)
会員 [一般] 4,000円/[学生] 1,000円 非会員 [一般] 10,000円/[学生] 2,000円

当日参加登録も可能ですが、原則WEB申込サイトよりお願いします。
システムでの申込を完了した上でご来場いただきますよう、運営へのご協力をお願いします。

JAFI2023 大会ホームページ
<https://www.jafi.jp/conf/jafi2023/>



主催: **JAFI** 日本食品免疫学会